

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
植松孝悦 角田博子 笠原善郎 鈴木昭彦 他	2プレスト・アウェ アネス 3乳房構成の分類 4乳房構成の評価 法	日本乳癌学 会	検診カテゴリー と診断カテ ゴリーに基 づく乳がん検診 精検報告書作 成マニュアル	金原出版 佐々木	東京	2019年	52 - 56
植松孝悦 他	Q5乳がん検診に ついて教えてくだ さい。	日本乳癌学 会	患者さんのた めの乳がん診 療ガイドライ ン	金原出版	東京	2019年	39 - 41
笠原善郎 植松孝悦	マンモグラフィ検 診の偽陰性と高濃 度乳房問題につ いて	大内憲明	マンモグラフィ による乳がん 検診の手引き - 精度管理マ ニュアル - 第 7版	日本医事 新報社	東京	2020年	135-141
植松孝悦	検診カテゴリーと 診断カテゴリーに 基づく乳がん検診 精検報告書作成マ ニュアル	大内憲明	ンモグラフィ による乳がん 検診の手引き - 精度管理マ ニュアル - 第 7版	日本医事 新報社	東京	2020年	172-180
高橋宏和 他	がん検診	国立がん研 究センター がん対策情 報センター	がん専門相談 員のための学 習の手引き ～実践に役立 つエッセンス ～ 第3班	国立がん 研究セン ターがん 対策情報 センター	東京	2020年	134-138

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
笠原善郎	マンモグラフィ検診の 偽陰性の観点から見た 高濃度乳房問題 乳房 構成に関する情報提供 について	公衆衛生	84(3)	188-193	2020

笠原善郎	対策型乳がん検診における高濃度乳房への対応の現状と課題	日本乳癌検診学会誌	28(1)	1-4	2019
笠原善郎	乳がん検診の利益と不利益から見た高濃度乳房への対応について	臨床画像	35(7)	775-780	2019
町井涼子、高橋宏和、中山富雄	日本の対策型検診における直近5年度分の偶発症頻度について	厚生指針	66	2019	13-19
Ban K, Tsunoda H et al	Characteristics of ultrasonographic images of ductal carcinoma in situ with abnormalities of the d	Journal of Medical Ultrasonics	47	107-115	2020
Watanabe T, Tsunoda H et al	Multicenter Prospective Study of Color Doppler Ultrasound for Breast Masses: Utility of Our Color Doppler Method.	Ultrasound Med Biol.	45	1367-1379	2019
植松孝悦, 笠原善郎, 鈴木昭彦, 高橋宏和, 角田博子	ブレスト・アウェアネス	日本乳癌検診学会誌	29 (1)	27-33	2020
Harada-Shoji, Suzuki A, and Ishihida T. et al.	A metabolic profile of routine needle biopsies identified tumor type specific metabolic signatures for breast cancer stratification: a pilot study.	Metabolomics	15(11)	147	2019
鈴木 昭彦, 石田孝宣, 大内 憲明 他	高濃度乳房とJ-START	日本乳癌検診学会誌	28(1)	5-8	2019
鈴木昭彦	ライフステージ別に乳がん検診を考える	INNERVISION	34(8)	5-8	2019